

○広島修道大学経済科学部履修細則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この細則は、広島修道大学学則（以下「学則」という。）に基づき、経済科学部学生の履修及び単位の認定に必要な事項を定める。

2 本細則に定めるもののほか、必要な事項については、経済科学部教授会の議を経てこれを定める。

(単位算定基準)

第2条 各授業科目の単位算定基準は、15時間の授業をもって1単位、30時間の授業をもって2単位、60時間の授業をもって4単位とする。ただし、別表1において1単位と定められている科目のうち、実験、実習及び実技で行われる授業は30時間をもって1単位とする。

(科目区分、科目分類及び卒業所要単位数)

第3条 経済科学部の科目区分は、修道スタンダード科目、共通教育科目、グローバル科目、主専攻科目及び自由選択科目とし、卒業には、次の表の各科目分類ごとの修得単位数を満たし、合計124単位以上修得しなければならない。

[現代経済学科]

科目区分	科目分類	修得単位数		卒業所要単位数
修道スタンダード科目	全学共通科目	6単位以上		124単位以上
グローバル科目	留学生教育科目 留学支援教育科目 国際共修科目			
共通教育科目	教養科目	22単位以上		
	外国語科目	英語	6単位以上	
		初修外国語	2単位以上	
保健体育科目	実習科目1単位以上			
主専攻科目	A群	10単位以上	78単位以上	
	B群	14単位以上		
	C群	14単位以上		
	D群			
	E群			
	F群	4単位以上		
	G群			

	H群		
	I群		
自由選択科目			

[経済情報学科]

科目区分	科目分類	修得単位数		卒業所要単位数
修道スタンダード科目	全学共通科目	6単位以上		124単位以上
グローバル科目	留学生教育科目 留学支援教育科目 国際共修科目			
共通教育科目	教養科目	22単位以上		
	外国語科目	英語	6単位以上	
		初修外国語	2単位以上	
	保健体育科目	実習科目1単位以上		
主専攻科目	A群	10単位以上		78単位以上
	B群	14単位以上		
	C群	14単位以上		
	D群			
	E群			
	F群	6単位以上		
	G群			
	H群			
	I群			
自由選択科目				

(配当年次、単位修得)

第4条 学則第10条第1項別表2の授業科目のうち、経済科学部の授業科目の配当年次、単位修得についての詳細は、別表1、別表2及び別表3の授業科目配当表に定める。

2 本細則別表2については2006年度以前に入学した者に適用する。

3 本細則別表3については、2007年度以降2010年度以前に入学した者に適用する。

第2章 履修科目の登録、履修方法及び制限

(履修科目の登録)

第5条 学生は、指定登録日に所定の履修手続きにより、授業科目の中から履修科目を登録しなければならない。

2 履修科目の選択は、別表1の授業科目配当表に従い行わなければならない。

- 3 既に単位を修得した授業科目については、履修登録することができない。ただし、副題の異なる同一授業科目の履修についてはその限りではない。
- 4 副題の異なる同一授業科目については、別にこれを定める。
- 5 主専攻科目のゼミナールについては、担当教員の承認を受けて登録しなければならない。

(授業科目の履修)

第6条 授業科目の履修は特別な場合を除き、授業科目配当表に定められた年次で履修しなければならない。ただし、再度履修する場合は、その限りではない。

(他学部、他学科授業科目の履修)

第7条 他学部、他学科に属する授業科目を履修することができる。

- 2 他学部、他学科の授業科目は別に定める科目のうちから履修することができる。この場合、修得した単位は両学科とも自由選択科目として卒業所要単位に算入することができる。
- 3 前2項の規定にかかわらず、所属学科に開設されている授業科目及び別に定める授業科目については他学部、他学科の授業科目として履修することができない。

(履修単位数の制限)

第8条 学生が1年間に履修し得る単位数は、他学部、他学科の授業科目も含めて各年次とも44単位を超えることができない。

- 2 学生が前期又は後期に履修し得る単位数は、通年科目を除いて、24単位を超えることができない。ただし、4年次に限り28単位まで履修することができる。
- 3 教育職員免許状を取得するために履修する教職に関する科目の単位数は、第1項及び第2項に定める履修単位数に含まないものとする。
- 4 編入学生及び学士入学生についての履修単位数の制限は、単位換算決定後にこれを定める。

(主専攻科目の履修制限)

第9条 両学科にそれぞれ履修指導科目を設ける。履修登録にあたっては、履修指導科目等の指針に従って履修を行うことが望ましい。

(副専攻コース)

第10条 別に定める副専攻授業科目のうちから合計30単位以上修得した者は各学部のコースを修了したものとする。

(英語副専攻コース)

第11条 別に定める授業科目のうちから合計24単位以上修得し、指定の外部資格を取得した者は英語副専攻コースを修了したものとする。

(グローバルコース)

第12条 別に定める授業科目のうちから、国際理解科目6単位以上、英語トレーニング科

目24単位以上の合計30単位以上を修得し、指定の留学プログラム及びサービスラーニングにより24単位以上を修得した者はグローバルコースを修了したものとする。

(地域イノベーションコース)

第13条 別に定める授業科目のうちから、全学プログラム修道スタンダード科目6単位以上、同プログラムコース共通科目8単位以上、学部別プログラム6単位以上、指定の認定プログラム4単位以上を含む合計30単位以上を修得した者は地域イノベーションコースを修了したものとする。

(検定試験等の単位認定)

第14条 学生が別に定める検定試験等に合格したとき又は所定の成果をあげたときは、これに係る学修につき所定の単位を認定することがある。

2 前項の単位認定を希望する学生は、各学年の指定期間内に、所定の検定試験等単位認定申請書により願い出なければならない。

3 第1項により認定された単位は、所定の授業科目群の卒業所要単位に算入する。

### 第3章 試験、単位認定及び成績評価

(試験、単位認定及び成績評価)

第15条 各授業科目に対する単位の認定は、原則として広島修道大学試験細則に定める試験により行う。

2 第1項の規定にかかわらず、授業科目担当教員により、次に掲げるいずれかによって単位の認定を行うことができる。

(1) 平常の成績

(2) 課題研究報告書

(3) 平常の成績及び課題研究報告書

3 成績評価は、広島修道大学学則第18条の定めに従い行う。なお、Xは評価不能を示すものとする。

### 第4章 その他

(事務担当)

第16条 この細則に関する事務は、教学センターが担当する。

(細則の改廃)

第17条 この細則の改廃は、大学評議会の議を経て学長がこれを行う。

### 附 則

1 この細則は、1997年4月1日から施行する。

2 この細則は、2002年2月7日に第2条の別表、第3条の別表、第4条第1項、同条第2項の別表、第6条及び第8条から第11条を改正し、新たに第11条の2を追加し、2002年4月1日から施行する。ただし、2001年度以前に入学した者については、第4条第1項及び第6条を除き、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

- 3 この細則は、2006年11月2日に全面改正し、2007年4月1日から施行する。ただし、2006年度以前に入学した者については、第5条第1項を除き改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとし、改正前の第4条別表に加えて、改正後の第4条別表2の授業科目についても履修できるものとする。
- 4 この細則は、2010年9月9日に第3条、第8条第1項、同条第2項を改正し、第9条、第10条、第11条第2項、同条第3項を削り、以下条文を繰り上げて、2011年4月1日から施行する。ただし、2010年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。
- 5 この細則は、規程等整理の方針に基づき、2011年8月4日に改正し、同日から施行する。
- 6 この細則は、2011年8月4日に第4条第1項を改正し、新たに第4条第3項及び同条別表3を追加し、2012年4月1日から施行する。
- 7 この細則は、2013年3月7日に第13条を改正し、第14条、第15条、第16条、第17条及び第18条を削り、以下条数を繰り上げて2013年4月1日から施行する。
- 8 この細則は、2014年1月9日に第4条第1項別表1、第5条第2項別表1、第10条及び第11条を改正し、第12条、第13条を追加し、以下条数を繰り下げて2014年4月1日から施行する。ただし、2013年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。
- 9 この細則は2015年8月6日に第4条第1項別表1を改正し、2016年4月1日より施行する。ただし、2013年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 10 この細則は、2015年9月3日に第16条を改正し、2015年10月1日から施行する。
- 11 この細則は2015年10月8日に第4条第1項別表1を改正し、2016年4月1日より施行する。
- 12 この細則は、2015年1月7日に第2条を改正し、2016年4月1日から施行する。
- 13 この細則は2016年11月10日に第3条第1項、同条の別表、第4条第1項別表1及び第5条第2項別表1を改正し2017年4月1日から施行する。ただし、2016年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。
- 14 この細則は2017年2月9日に第4条第1項別表1、第5条第2項別表1を改正し2017年4月1日から施行する。ただし、2016年度以前に入学した者については、改正後の規定にかかわらず、「長期インターンシップA」、「長期インターンシップB」、「長期インターンシップ事前・事後指導」を遡及適用するほかは、なお従前の例によるものとする。

別表1（第3条及び第4条及び第5条第2項関係）

経済科学部授業科目配当表

(1) 経済科学部授業科目（二学科共通）

科目 区分	科目 分類	授業科目の名称	単位数		配当年次	単位修得
			必修	選択		
修道 スタ ンダ ード 科目	全学 共通 科目	修大基礎講座	2	2	1	(1)情報処理入門Ⅰ2単位 を含む6単位以上を修得 しなければならない。た だし、地域イノベーション 論、地域コミュニケー ション論、ひろしま未来 協創プロジェクト及びひ ろしま未来協創特講の修 得単位を、6単位に含める ことはできない。  (2)修大基礎講座及び初年 次セミナーは、原則とし て1年次に、大学生活とキ ャリア形成は2年次に履 修するものとする。  (3)修大基礎講座は、再度 の履修をすることができ ない。  (4)情報処理入門Ⅱは、情 報処理入門Ⅰの単位を修 得していなければ履修で きない。  (5)大学生活とキャリア形 成は、再々度の履修をす ることができない。  (6)情報処理入門Ⅱ、広島 学、ひろしま未来協創プ ロジェクト及びひろしま 未来協創特講について は、副題の異なるものは 複数履修することができ る。ただし、広島学につ いては、1年間に履修でき
		初年次セミナー		2	1	
		情報処理入門Ⅰ		2	1	
		情報処理入門Ⅱ		2	1・2・3・4	
		大学生活とキャリア形成		2	2	
		広島学		2	2・3・4	
		地域イノベーション論		2	1・2・3・4	
		地域コミュニケーション論		2	1・2・3・4	
		ひろしま未来協創プロジェ クト		2	2・3・4	
		ひろしま未来協創特講		1	1・2・3・4	

						る回数は1回のみとする。	
グローバル科目	留学 生教 育科 目	日本語 I	1	1・2・3・4	(1)外国人留学生等のみ履 修可。		
		日本語 II	1	1・2・3・4			
		日本語 III	1	1・2・3・4			
		日本語 IV	1	1・2・3・4			
		日本語 V	1	1・2・3・4			
		日本語 VI	1	1・2・3・4			
		日本語 VII	1	1・2・3・4			
		日本語 VIII	1	1・2・3・4			
		アカデミック日本語	2	1・2・3・4			
		ビジネス日本語	2	1・2・3・4			
		日本研究	2	1・2・3・4			
		留学 支援 教育 科目	留学 スタートアップ	留学スタートアップ		1	1・2・3・4
				留学英語入門		2	1・2・3・4
				英語圏留学入門		1	1・2・3・4
アジア圏留学入門	1			1・2・3・4			
外国語としての日本語	2			1・2・3・4			
留学フォローアップ	1			1・2・3・4			
グローバル特講 I	2			1・2・3・4			
グローバル特講 II	1			1・2・3・4			
グローバル特講 III	2			2・3・4			
グローバル特講 IV	1			3・4			
海外研修A	1			1・2・3・4			
海外研修B	2			1・2・3・4			
海外研修C	3			1・2・3・4			
海外研修D	4			1・2・3・4			
海外研修E	5			1・2・3・4			
国際 共修 科目	Multicultural Project			多文化交流プロジェクト	2	1・2・3・4	
					2	1・2・3・4	
共通 教育 科目	教養 科目	哲学	2	1・2・3・4	(1)総合教養コース は卒業までに合計 1科目2単位のみ修 得することができ る。	共通 教育 科目 につ いて	
		倫理学	2	1・2・3・4			
		美学	2	1・2・3・4			
		芸術学	2	1・2・3・4			
		日本文学	2	1・2・3・4			

		西洋文学	2	1・2・3・4	は、22 単位 以上 修得 しな けれ ばな らな い。
		日本語学	2	1・2・3・4	
		心理学	2	1・2・3・4	
		文化論	2	1・2・3・4	
		文化人類学	2	1・2・3・4	
		日本史	2	1・2・3・4	
		東洋史	2	1・2・3・4	
		西洋史	2	1・2・3・4	
		地理学	2	1・2・3・4	
		社会学	2	1・2・3・4	
		法学	2	1・2・3・4	
		政治学	2	1・2・3・4	
		経済学	2	1・2・3・4	
		統計学	2	1・2・3・4	
		情報社会論	2	1・2・3・4	
		物理学	2	1・2・3・4	
		化学	2	1・2・3・4	
		生物学	2	1・2・3・4	
		環境科学	2	1・2・3・4	
		数学	2	1・2・3・4	
		教養講義	2	1・2・3・4	
		総合教養講義a	2	1・2・3・4	
		総合教養講義b	2	2・3・4	
		総合教養コース	2	1・2・3・4	
外国語科目	英語	英語リスニングⅠ	1	1・2・3・4	(1)英語科目につい ては、6単位以上修 得しなければなら ない。 (2)英語科目は、当 該学期のレベル区 分に基づき履修す る。 (3)英語リスニング Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・
		英語リスニングⅡ	1	1・2・3・4	
		英語リスニングⅢ	1	1・2・3・4	
		英語リスニングⅣ	1	1・2・3・4	
		英語リスニングⅤ	1	1・2・3・4	
		英語リスニングⅥ	1	1・2・3・4	
		英語リーディングⅠ	1	1・2・3・4	
		英語リーディングⅡ	1	1・2・3・4	
		英語リーディングⅢ	1	1・2・3・4	
		英語リーディングⅣ	1	1・2・3・4	



英語リーディングⅤ	1	1・2・3・4	V・Ⅵから2単位、
英語リーディングⅥ	1	1・2・3・4	英語リーディング
アクティブ・イングリッシュⅠ	1	2・3・4	I・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・ V・Ⅵから2単位を
アクティブ・イングリッシュⅡ	1	2・3・4	必修とする。 (4)英語リスニング
実用英語実習Ⅰ	1	1・2・3・4	I・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・
実用英語実習Ⅱ	1	1・2・3・4	V・Ⅵ、英語リー
英語ライティング研究Ⅰ	2	1・2・3・4	ディングⅠ・Ⅱ・
英語ライティング研究Ⅱ	2	1・2・3・4	Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵは1
英語ライティング研究Ⅲ	2	1・2・3・4	年次開始時におい
英語ライティング研究Ⅳ	2	1・2・3・4	て履修登録するも
英語読解研究Ⅰ	2	1・2・3・4	のとする。
英語読解研究Ⅱ	2	1・2・3・4	(5)レベル1の学生
英語読解研究Ⅲ	2	1・2・3・4	は、2年次開始時に
英語読解研究Ⅳ	2	1・2・3・4	においてアクティ
英語聴解研究Ⅰ	2	1・2・3・4	ブ・イングリッシ
英語聴解研究Ⅱ	2	1・2・3・4	ュⅠ・Ⅱを履修登
英語聴解研究Ⅲ	2	1・2・3・4	録するものとす
英語聴解研究Ⅳ	2	1・2・3・4	る。
英語コミュニケーション研究Ⅰ	2	1・2・3・4	(6)レベル2・レベル
英語コミュニケーション研究Ⅱ	2	1・2・3・4	3・レベル4の学生
英語コミュニケーション研究Ⅲ	2	1・2・3・4	は、2年次開始時に
英語コミュニケーション研究Ⅳ	2	1・2・3・4	においてアクティ
英語コミュニケーション研究Ⅴ	2	1・2・3・4	ブ・イングリッシ
英語コミュニケーション研究Ⅵ	2	1・2・3・4	ュⅠ・Ⅱ、英語リ
英語語法研究Ⅰ	2	1・2・3・4	スニングⅠ・Ⅱ・
英語語法研究Ⅱ	2	1・2・3・4	Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、
英語語法研究Ⅲ	2	1・2・3・4	英語リーディング
			Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・
			V・Ⅵを除く英語
			科目の中から2単
			位を選択必修とす
			る。
			(7)アクティブ・イ

英語語法研究Ⅳ	2	1・2・3・4	ングリッシュⅠ・
資格英語研究Ⅰ	2	1・2・3・4	Ⅱ、英語リスニン
資格英語研究Ⅱ	2	1・2・3・4	グⅠ・Ⅱ、英語リ
資格英語研究Ⅲ	2	1・2・3・4	ーディングⅠ・Ⅱ、
資格英語研究Ⅳ	2	1・2・3・4	実用英語実習Ⅰ・
資格英語研究Ⅴ	2	1・2・3・4	Ⅱを除くⅠ・Ⅱの
資格英語研究Ⅵ	2	1・2・3・4	科目並びに英語リ
英語プレゼンテーション研 究Ⅰ	2	1・2・3・4	スニングⅢ・Ⅳ、 英語リーディング
英語プレゼンテーション研 究Ⅱ	2	1・2・3・4	Ⅲ・Ⅳはレベル2の 科目とし、レベル 2・レベル3・レベ ル4の学生が履修 できる。英語リス ニングⅢ・Ⅳ、英 語リーディング Ⅲ・Ⅳを除くⅢ・ Ⅳの科目はレベル 3の科目とし、レベ ル3・レベル4の学 生が履修できる。 英語コミュニケー ション研究Ⅴ・Ⅵ、 資格英語研究Ⅴ・ Ⅵはレベル4の科 目とし、レベル4の 学生が履修でき る。 (8)アクティブ・イ ングリッシュⅠ・ Ⅱはレベル1の科 目とし、レベル1の 学生に限り履修で きる。ただし、ア クティブ・イング

					<p>リッシュ I 又は II の単位を修得した学生は、レベル2以上にアップした場合も、アクティブ・イングリッシュ I 又は II を引き続き履修することができる。</p> <p>(9) 実用英語実習 I・II はレベル1の科目とし、レベル1の学生に限り履修できる。</p>
初修外国語	ドイツ語 I	1	1・2・3・4	(1) 初修外国語については、2単位以上	
	ドイツ語 II	1	1・2・3・4	修得しなければなら	
	ドイツ語 III	1	1・2・3・4	ない。	
	ドイツ語 IV	1	1・2・3・4		
	フランス語 I	1	1・2・3・4	(2) 言語と文化 I・	
	フランス語 II	1	1・2・3・4	II・III・IV 及び上	
	フランス語 III	1	1・2・3・4	級外国語 I・II は	
	フランス語 IV	1	1・2・3・4	当該外国語の I・	
	スペイン語 I	1	1・2・3・4	II・III・IV の4単位	
	スペイン語 II	1	1・2・3・4	を修得していな	
	スペイン語 III	1	1・2・3・4	ければ、履修できな	
	スペイン語 IV	1	1・2・3・4	い。	
	中国語 I	1	1・2・3・4		
	中国語 II	1	1・2・3・4		
	中国語 III	1	1・2・3・4		
	中国語 IV	1	1・2・3・4		
	韓国・朝鮮語 I	1	1・2・3・4		
	韓国・朝鮮語 II	1	1・2・3・4		
	韓国・朝鮮語 III	1	1・2・3・4		
	韓国・朝鮮語 IV	1	1・2・3・4		
	言語と文化 I	2	2・3・4		

		言語と文化Ⅱ	2	2・3・4	
		言語と文化Ⅲ	2	2・3・4	
		言語と文化Ⅳ	2	2・3・4	
		上級外国語Ⅰ	2	2・3・4	
		上級外国語Ⅱ	2	2・3・4	
保健	健康科学論		2	1・2・3・4	(1)保健体育科目に
体育	運動科学論		2	1・2・3・4	については実習科目
科目	健康科学演習		2	1・2・3・4	1単位以上修得し
	運動科学演習		2	1・2・3・4	なければならな
	健康スポーツ実習		1	1・2・3・4	い。
	運動スポーツ実習		1	1・2・3・4	(2)保健体育科目の
	野外運動実習Ⅰ		1	2・3・4	実習科目は8単位
	野外運動実習Ⅱ		1	2・3・4	まで修得すること ができる。

(2) 現代経済学科授業科目

科目 区分	科目 分類	授業科目の名称	単位数		配当年次	単位修得		
			必修	選択				
主専 攻科 目	A群	経済分析入門Ⅰ		2	1・2・3・4	10単位以上修得し	主専 攻科 目か ら合 計78 単位 以上 修得 しな けれ ばな らな い。	
		経済分析入門Ⅱ		2	1・2・3・4	なければならな		
		ミクロ経済学Ⅰ		2	2・3・4	い。		
		ミクロ経済学Ⅱ		2	2・3・4			
		マクロ経済学Ⅰ		2	2・3・4			
		マクロ経済学Ⅱ		2	2・3・4			
		数理経済学Ⅰ		2	3・4			
		数理経済学Ⅱ		2	3・4			
		計量経済学Ⅰ		2	3・4			
		計量経済学Ⅱ		2	3・4			
		情報経済学Ⅰ		2	3・4			
		情報経済学Ⅱ		2	3・4			
		B群	金融論Ⅰ		2	2・3・4		14単位以上修得し
			金融論Ⅱ		2	2・3・4		なければならな
国際経済学Ⅰ			2	2・3・4	い。			
国際経済学Ⅱ			2	2・3・4				
インターナショナルファイ ナンスⅠ			2	2・3・4				

	インターナショナルファイ ナンスⅡ	2	2・3・4	
	日本経済論Ⅰ	2	2・3・4	
	日本経済論Ⅱ	2	2・3・4	
	社会経済学Ⅰ	2	2・3・4	
	社会経済学Ⅱ	2	2・3・4	
	経済史Ⅰ	2	2・3・4	
	経済史Ⅱ	2	2・3・4	
	経済学史Ⅰ	2	2・3・4	
	経済学史Ⅱ	2	2・3・4	
	経済政策Ⅰ	2	2・3・4	
	経済政策Ⅱ	2	2・3・4	
C群	応用ミクロ経済学	2	3・4	14単位以上修得し なければならな い。
	応用マクロ経済学	2	3・4	
	産業経済学Ⅰ	2	3・4	
	産業経済学Ⅱ	2	3・4	
	公共経済学Ⅰ	2	3・4	
	公共経済学Ⅱ	2	3・4	
	財政学Ⅰ	2	3・4	
	財政学Ⅱ	2	3・4	
	地域経済論Ⅰ	2	3・4	
	地域経済論Ⅱ	2	3・4	
	労働経済学Ⅰ	2	3・4	
	労働経済学Ⅱ	2	3・4	
	環境経済学Ⅰ	2	3・4	
	環境経済学Ⅱ	2	3・4	
	ファイナンス論Ⅰ	2	3・4	
	ファイナンス論Ⅱ	2	3・4	
	金融特論	2	3・4	
	国際経済学特論	2	3・4	
D群	プレゼミナール	2	2・3・4	(1)ゼミナールⅠの 単位を修得してい なければ、原則と してゼミナールⅡ
	ゼミナールⅠ	2	3・4	
	ゼミナールⅡ	2	3・4	
	ゼミナールⅢ	2	4	

	ゼミナールⅣ	2	4	の履修はできない。 (2)ゼミナールⅠ・Ⅱの単位を修得していなければ、ゼミナールⅢ・Ⅳの履修はできない。 (3)ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ及び卒業論文は、原則として同一担当者のゼミナール及び卒業論文を履修しなければならない。
	卒業論文	4	4	
E群	外国書講読	2	3・4	
	特殊講義a	2	2・3・4	
	特殊講義b	2	3・4	
	インターンシップ	2	2・3・4	
	長期インターンシップA	4	1・2・3・4	
	長期インターンシップB	8	1・2・3・4	
	長期インターンシップ事前・事後指導	1	1・2・3・4	
	イノベーション・プロジェクトⅠ	2	3・4	
	イノベーション・プロジェクトⅡ	2	3・4	
F群	確率・統計入門	2	1・2・3・4	4単位以上修得しなければならない。
	経済数学入門Ⅰ	2	1・2・3・4	
	経済数学入門Ⅱ	2	1・2・3・4	
	経済統計学Ⅰ	2	2・3・4	
	経済統計学Ⅱ	2	2・3・4	
G群	憲法Ⅰ	2	1・2・3・4	
	憲法Ⅱ	2	1・2・3・4	
	民法Ⅰ	2	1・2・3・4	
	民法Ⅱ	2	1・2・3・4	

	商法 I	2	2・3・4	
	商法 II	2	2・3・4	
	経済法	2	2・3・4	
H群	システム科学入門 I	2	1・2・3・4	
	システム科学入門 II	2	1・2・3・4	
	情報科学入門 I	2	1・2・3・4	
	情報科学入門 II	2	1・2・3・4	
	経営システム科学 I	2	2・3・4	
	経営システム科学 II	2	2・3・4	
	情報ネットワーク概論 I	2	3・4	
	情報ネットワーク概論 II	2	3・4	
	情報社会概論 I	2	2・3・4	
	情報社会概論 II	2	2・3・4	
	プロジェクトマネジメント 論 I	2	3・4	
	プロジェクトマネジメント 論 II	2	3・4	
	シミュレーション論 I	2	3・4	
	シミュレーション論 II	2	3・4	
	応用情報論 I	2	3・4	
	応用情報論 II	2	3・4	
	ソフトウェア I	2	2・3・4	
	ソフトウェア II	2	2・3・4	
	システム設計	2	3・4	
	システム監査論	2	3・4	
I群	英語ディスカッション I	2	1・2・3・4	英語ディスカッ
	英語ディスカッション II	2	1・2・3・4	ション V・VI、時事
	英語ディスカッション III	2	1・2・3・4	英語 V・VI、ビジ
	英語ディスカッション IV	2	1・2・3・4	ネス英語 V・VIを
	英語ディスカッション V	2	1・2・3・4	履修するには、英
	英語ディスカッション VI	2	1・2・3・4	語ディスカッショ
	時事英語 I	2	1・2・3・4	ン III・IV、時事英
	時事英語 II	2	1・2・3・4	語 III・IV、ビジネ
	時事英語 III	2	1・2・3・4	ス英語 III・IVのう

	時事英語Ⅳ	2	1・2・3・4	ちから2単位以上
	時事英語Ⅴ	2	1・2・3・4	修得しなければな
	時事英語Ⅵ	2	1・2・3・4	らない。
	ビジネス英語Ⅰ	2	1・2・3・4	
	ビジネス英語Ⅱ	2	1・2・3・4	
	ビジネス英語Ⅲ	2	1・2・3・4	
	ビジネス英語Ⅳ	2	1・2・3・4	
	ビジネス英語Ⅴ	2	1・2・3・4	
	ビジネス英語Ⅵ	2	1・2・3・4	
	海外研修Ⅰ	1	1・2・3・4	
	海外研修Ⅱ	2	1・2・3・4	
	海外研修Ⅲ	3	1・2・3・4	
	海外研修Ⅳ	4	1・2・3・4	
	海外研修Ⅴ	5	1・2・3・4	

(3) 経済情報学科授業科目

科目区分	科目分類	授業科目の名称	単位数		配当年次	単位修得			
			必修	選択					
主専攻科目	A群	経済分析入門Ⅰ		2	1・2・3・4	10単位以上修得しなければなら ない。	主専攻科目か ら合計78 単位以上 修得しな ければな らな い。		
		経済分析入門Ⅱ		2	1・2・3・4				
		ミクロ経済学Ⅰ		2	2・3・4				
		ミクロ経済学Ⅱ		2	2・3・4				
		マクロ経済学Ⅰ		2	2・3・4				
		マクロ経済学Ⅱ		2	2・3・4				
		数理経済学Ⅰ		2	3・4				
		数理経済学Ⅱ		2	3・4				
		計量経済学Ⅰ		2	3・4				
		計量経済学Ⅱ		2	3・4				
		情報経済学Ⅰ		2	3・4				
		情報経済学Ⅱ		2	3・4				
		B群	システム科学入門Ⅰ		2			1・2・3・4	14単位以上修得し なければなら ない。
			システム科学入門Ⅱ		2			1・2・3・4	
経済システム科学Ⅰ			2	2・3・4					
経済システム科学Ⅱ			2	2・3・4					
経営システム科学Ⅰ			2	2・3・4					
経営システム科学Ⅱ			2	2・3・4					



	数理統計学Ⅰ	2	3・4	
	数理統計学Ⅱ	2	3・4	
	シミュレーション論Ⅰ	2	3・4	
	シミュレーション論Ⅱ	2	3・4	
	社会システム科学Ⅰ	2	3・4	
	社会システム科学Ⅱ	2	3・4	
	プロジェクトマネジメント 論Ⅰ	2	3・4	
	プロジェクトマネジメント 論Ⅱ	2	3・4	
	応用確率システム論	2	3・4	
	システム設計	2	3・4	
	システム監査論	2	3・4	
C群	情報科学入門Ⅰ	2	1・2・3・4	14単位以上修得し なければならな い。
	情報科学入門Ⅱ	2	1・2・3・4	
	情報処理Ⅰ	2	2・3・4	
	情報処理Ⅱ	2	2・3・4	
	情報ネットワーク概論Ⅰ	2	3・4	
	情報ネットワーク概論Ⅱ	2	3・4	
	情報数学Ⅰ	2	2・3・4	
	情報数学Ⅱ	2	2・3・4	
	情報社会概論Ⅰ	2	2・3・4	
	情報社会概論Ⅱ	2	2・3・4	
	応用情報論Ⅰ	2	3・4	
	応用情報論Ⅱ	2	3・4	
	ソフトウェアⅠ	2	2・3・4	
	ソフトウェアⅡ	2	2・3・4	
	コンピュータグラフィック スⅠ	2	3・4	
	コンピュータグラフィック スⅡ	2	3・4	
D群	ゼミナールⅠ	2	3・4	
	ゼミナールⅡ	2	3・4	
	ゼミナールⅢ	2	4	
	ゼミナールⅣ	2	4	

	卒業論文	4	4	を履修できない。 (2)ゼミナールⅠ・Ⅱの単位を修得していなければ、ゼミナールⅢの履修はできない。 (3)ゼミナールⅢの単位を修得していなければ、原則としてゼミナールⅣの履修はできない。 (4)ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ及び卒業論文は、原則として同一担当者のゼミナール及び卒業論文を履修しなければならない。
E群	マルチメディア演習	2	2・3・4	
	計測・制御演習	2	2・3・4	
	情報システム演習	2	3・4	
	情報通信ネットワーク演習	2	3・4	
	外国書講読	2	3・4	
	特殊講義a	2	2・3・4	
	特殊講義b	2	3・4	
	インターンシップ	2	2・3・4	
	長期インターンシップA	4	1・2・3・4	
	長期インターンシップB	8	1・2・3・4	
	長期インターンシップ事前・事後指導	1	1・2・3・4	
	イノベーション・プロジェクトⅠ	2	3・4	
	イノベーション・プロジェクトⅡ	2	3・4	

F群	代数学	2	1・2・3・4	6単位以上修得しなければなら ない。
	解析学Ⅰ	2	1・2・3・4	
	解析学Ⅱ	2	1・2・3・4	
	基礎解析Ⅰ	2	1・2・3・4	
	基礎解析Ⅱ	2	1・2・3・4	
	基礎解析Ⅲ	2	2・3・4	
	経済統計学Ⅰ	2	2・3・4	
	経済統計学Ⅱ	2	2・3・4	
G群	憲法Ⅰ	2	1・2・3・4	
	憲法Ⅱ	2	1・2・3・4	
	民法Ⅰ	2	1・2・3・4	
	民法Ⅱ	2	1・2・3・4	
	商法Ⅰ	2	2・3・4	
	商法Ⅱ	2	2・3・4	
	経済法	2	2・3・4	
H群	金融論Ⅰ	2	2・3・4	
	金融論Ⅱ	2	2・3・4	
	国際経済学Ⅰ	2	2・3・4	
	国際経済学Ⅱ	2	2・3・4	
	インターナショナルファイ ナンスⅠ	2	2・3・4	
	インターナショナルファイ ナンスⅡ	2	2・3・4	
	社会経済学Ⅰ	2	2・3・4	
	社会経済学Ⅱ	2	2・3・4	
	経済史Ⅰ	2	2・3・4	
	経済史Ⅱ	2	2・3・4	
	応用ミクロ経済学	2	3・4	
	応用マクロ経済学	2	3・4	
	産業経済学Ⅰ	2	3・4	
	産業経済学Ⅱ	2	3・4	
	公共経済学Ⅰ	2	3・4	
	公共経済学Ⅱ	2	3・4	
	財政学Ⅰ	2	3・4	

	財政学Ⅱ	2	3・4	
	経済政策Ⅰ	2	2・3・4	
	経済政策Ⅱ	2	2・3・4	
	環境経済学Ⅰ	2	3・4	
	環境経済学Ⅱ	2	3・4	
	地域経済論Ⅰ	2	3・4	
	地域経済論Ⅱ	2	3・4	
I群	英語ディスカッションⅠ	2	1・2・3・4	英語ディスカッションⅤ・Ⅵ、時事英語Ⅴ・Ⅵ、ビジネス英語Ⅴ・Ⅵを履修するには、英語ディスカッションⅢ・Ⅳ、時事英語Ⅲ・Ⅳ、ビジネス英語Ⅲ・Ⅳのうちから2単位以上修得しなければならない。
	英語ディスカッションⅡ	2	1・2・3・4	
	英語ディスカッションⅢ	2	1・2・3・4	
	英語ディスカッションⅣ	2	1・2・3・4	
	英語ディスカッションⅤ	2	1・2・3・4	
	英語ディスカッションⅥ	2	1・2・3・4	
	時事英語Ⅰ	2	1・2・3・4	
	時事英語Ⅱ	2	1・2・3・4	
	時事英語Ⅲ	2	1・2・3・4	
	時事英語Ⅳ	2	1・2・3・4	
	時事英語Ⅴ	2	1・2・3・4	
	時事英語Ⅵ	2	1・2・3・4	
	ビジネス英語Ⅰ	2	1・2・3・4	
	ビジネス英語Ⅱ	2	1・2・3・4	
	ビジネス英語Ⅲ	2	1・2・3・4	
	ビジネス英語Ⅳ	2	1・2・3・4	
	ビジネス英語Ⅴ	2	1・2・3・4	
	ビジネス英語Ⅵ	2	1・2・3・4	
	ビジネス中国語Ⅰ	2	2・3・4	
	ビジネス中国語Ⅱ	2	2・3・4	
	ビジネス韓国語Ⅰ	2	2・3・4	
	ビジネス韓国語Ⅱ	2	2・3・4	
	海外研修Ⅰ	1	1・2・3・4	
	海外研修Ⅱ	2	1・2・3・4	
	海外研修Ⅲ	3	1・2・3・4	
	海外研修Ⅳ	4	1・2・3・4	
	海外研修Ⅴ	5	1・2・3・4	

別表2（第4条関係）

## (1) 両学科共通科目

科目分類	授業科目の名称	単位数	配当年次	備考
教養科目	美学	2	1～4	
	教養講義	2	1～4	
外国語科目	言語と文化Ⅰ	2	2～4	
	言語と文化Ⅱ	2	2～4	
	言語と文化Ⅲ	2	2～4	
	言語と文化Ⅳ	2	2～4	

別表3 (第4条関係)

## (1) 両学科共通科目

科目区分	科目分類		授業科目の名称	単位数		配当年次	単位修得
				必修	選択		
共通教育科目	外国語科目	英語	アドバンスト英語		2	1・2・3・4	アドバンスト英語は、TOEICスコア500以上又はTOEIC—Bridgeスコア154以上の学生が履修できる。
		初修外国語	上級外国語Ⅰ 上級外国語Ⅱ		2 2	2・3・4 2・3・4	上級外国語Ⅰ・Ⅱは副題の異なる科目とし、当該外国語のⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの4単位を修得していなければ、履修できない。